

## 2024\_0516「ホオジロがチョウをゲット！（動画）」日々の理科 3570号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

野鳥の観察はなかなか大変です。大抵の野鳥は非常に警戒心が強く、ヒトが近寄って撮影することは難しいです。小型の鳥は動きも敏捷で、何よりも翼を持っていて飛ぶことができます。しかし、ネットワークカメラで遠隔撮影をすれば、野鳥の姿だけでなく行動（生態）まで、目の前にいるように観察できることがあります。

先日もホオジロの補食の一瞬を観察できました。ホオジロ（スズメ目ホオジロ科）は、遠目にはスズメにも見えますが、名の通り顔に白い模様があります。野鳥の観察の初心者でも、比較的簡単に見分けがつかます。オスは眼の下の黒い帯があるので、オスとメスの見分けも容易です。雑食性で、特に繁殖期の今の時期は好んで昆虫を捕食します。

動画では、コゴミ（シダ植物）で休んでいたチョウ（たぶんジャノメの一種）を捕食する一瞬が映っています。羽化直後だったのか、チョウはほとんど無抵抗であっさりと捕獲されました。翅と胴をバラバラにされ、最後に胴を丸飲みにする様子がわかります。また一つ、野生動物の生態がわかってよかったです。

（2024年5月中旬／北軽井沢／遠隔観測）

